

こちらに記載されている事業は、

競輪の補助金により実施した事業の一覧です。

補助事業名 : 平成 22 年度 自転車競技の普及促進

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

自転車競技の普及、振興を行い、国民の心身の健全な発達を図り、もって公益の増進に寄与する。

### (2) 実施内容

#### 国内競技大会の開催

- ・ [第 35 回チャレンジサイクル・ロード・レース大会](#) : 4 月 4 日 (静岡・日本CSC、980 名参加)



- ・ [2010 年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会](#) : 5 月 29 日 ~ 30 日 (岐阜・岐阜競輪場、男子 98 名、女子 24 名参加)  
兼 2009 年ジュニア世界選手権代表候補選手選考会



- ・ [第 79 回全日本アマチュア自転車競技選手権大会トラック・レース](#) : 5 月 29 日 ~ 30 日 (岐阜・岐阜競輪場、男子 98 名、女子 27 名参加)



- ・ [2010 年全国選手権個人タイムトライアルロードレース](#) : 6月13日(広島・中央森林公園、男子33名、女子11名参加)
- ・ [第15回ジュニア全国選手権ロードレース](#) : 6月26日、広島・中央森林公園、男子194名参加)



- ・ [第79回全日本アマチュア自転車競技選手権大会ロードレース](#) : 6月26日(広島・中央森林公園、男子93名参加)



- ・ [第13回全日本自転車競技選手権大会ロードレース](#) : 6月27日(広島・中央森林公園、男子151名、女子48名参加)



- ・ [第45回全国都道府県対抗自転車競技大会](#) : 8月20日~22日(トラック 山口・防府競輪場、ロード 山口・美弥市特設コース、男子176名、女子42名参加)



- ・ [第13回全日本自転車競技選手権大会トラックレース](#)：10月16日～17日(宮城・大和、男子60名、女子20名参加)



- ・ [2010全日本チーム対抗自転車競技大会](#)：11月3日(静岡・日本CSC250M、男子36名、女子18名参加)

### 国内での国際競技大会事業

- ・ [ACCアジアカップ2010日本ラウンド](#)：6月12日～14日(北海道・函館競輪場、選手24名参加)



- ・ [2010熊本国際ロードレース](#)：10月10日(熊本・山鹿市、男子86名参加)



- ・ [日韓対抗学生自転車競技大会](#)：11月7日(岸和田競輪場、大学男子5名、高校男子5、女子5)



## 国際競技大会事業

### ア．世界選手権大会派遣

- ・ [トラック](#) : 3月23日～27日 アペルドーン(オランダ)9名
- ・ [BMX](#) : 7月29日～8月1日 ピーターマリッツバーグ(南アフリカ)9名



- ・ [ジュニアロード](#) : 8月5日～15日 オッフイダ(イタリア)8名
- ・ [マウンテンバイク](#) : 8月31日～9月5日 モンサタン(カナダ)16名
- ・ [ロード](#) : 9月29日～10月3日 ジロング(オーストラリア)5名



### イ．アジア選手権大会等

- ・ [第16回アジア競技大会](#) (2010/広州) トラック・ロード・MTB・MBX : 11月13日～23日 広州(中国)24名





・ [第 30 回アジア自転車競技選手権大会](#) : 4 月 9 日 ~ 17 日 ジャルジャ(アラブ首長国連邦共和国) 27 名



・ [第 31 回アジア自転車競技選手権大会](#) : 2 月 9 日 ~ 17 日 ナコンラチャシマ(タイ) 25 名



- ・ACCトラック・アジアカップ 2010

[マレーシアラウンド](#)：6月25日～27日 クアラルンプール（マレーシア）6名



[タイラウンド](#)：9月11日～12日 バンコク（タイ）4名



#### ウ．その他国際大会選手派遣事業

- ・2010-2011UCIトラックワールドカップ

[第1戦](#)：12月2日～4日

メルボルン（オーストラリア）6名

[第2戦](#)：12月16日～18日

カリ（コロンビア）6名

[第3戦](#)：1月16日～18日

北京（中華人民共和国）9名



[第4戦](#)：2月18日～20日

マンチェスター（イギリス）10名

- ・2011年国際グランプリケイリン：2月20日（ワールドカップ第4戦最終日）選手7名

#### 加盟団体事業

##### ア．都道府県車連事業

-全国地域別道路競走大会-

第42回北海道地域 7月25日 北海道・豊富、男子47名

第37回東北地域 8月22日 岩手・紫波町特設周回コース、男子69名、女子13名

第45回関東地域 10月9日 群馬・群馬CSC、男子158名、女子7名

第44回中部地域 9月12日 福井・テクノポート特設コース、男子28名、女子5名

第45回近畿地域 5月30日 京都・美山町周回コース、男子193名、女子9名

- 第 45 回中国地域 6 月 13 日 広島・中央森林公園コース、男子 105 名、女子 5 名
- 第 36 回四国地域 10 月 17 日 香川・田万ダム周回コース、男子 38 名
- 第 44 回九州地域 11 月 7 日 鹿児島・錦江町特設コース、男子 82 名、女子 8 名

-全国地域別トラック・レース大会-

- 第 63 回東北地域 8 月 20 日～22 日 岩手・紫波競技場、男子 105 名、女子 13 名
- 第 62 回関東地域 7 月 10 日～11 日 山梨・境川競技場、男子 60 名、女子 14 名
- 第 44 回中部地域 9 月 11 日 福井・福井競輪場、男子 78 名、女子 4 名
- 第 43 回近畿地域 10 月 10 日 和歌山・和歌山競輪場、男子 82 名、女子 7 名
- 平成 22 年度中国地域 9 月 5 日 鳥取・倉吉自転車競技場、男子 46 名、女子 3 名
- 第 43 回四国地区 11 月 14 日 香川・高松競輪場、男子 38 名、女子 2 名
- 平成 22 年度九州地区 11 月 5 日～6 日 鹿児島・根占自転車競技場、男子 84 名、女子 8 名

-各都道府県別選手権-

(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日) 47 都道府県

イ. 日本プロフェッショナルサイクリスト協会事業

- ・[全日本プロ選手権自転車競技大会トラック・レース](#) : 5 月 16 日 北海道・函館競輪場、男子 179 名



- ・[全日本プロ選手権自転車競技大会BMX競技](#) : 11 月 7 日 静岡・日本CSC、男子 45 名



・平成 22 年度地区プロ自転車競技大会

- 第 37 回北日本地区 9 月 30 日～10 月 1 日 北海道・函館競輪場、男子 59 名
- 第 37 回関東地区 10 月 27 日 群馬・グリーンドーム前橋、男子 113 名
- 第 37 回南関東地区 10 月 20 日 神奈川・川崎競輪場、男子 93 名
- 第 37 回中部地区 10 月 27 日 岐阜・岐阜競輪場 男子 85 名
- 第 37 回近畿地区 10 月 16 日 奈良・奈良競輪場 男子 94 名
- 第 37 回中国地区 9 月 24 日 山口・防府競輪場 男子 69 名

- 第 37 回四 国地区 10 月 24 日 香川・高松競輪場 男子 59 名  
第 37 回九 州地区 10 月 21 日 福岡・久留米競輪場 男子 132 名

ウ．全国高等学校体育連盟事業

- ・ [平成 22 年度全国高等学校総合体育大会](#)：7 月 30 日～8 月 1 日  
トラック競技（沖縄県自転車競技場） ロード競技（沖縄・徳攝津ロードコース）
- ・ 平成 22 年度全国高等学校選抜自転車競技大会：3 月 24 日～27 日  
福岡・北九州メディアドーム他（開催自粛）

エ．日本学生自転車競技連盟事業

- ・ [第 26 回全日本学生選手権個人ロードレース大会](#)  
6 月 6 日 長野・大町市、男子 150 名



- ・ [第 49 回全日本学生選手権チームロードレース大会](#)  
6 月 19 日 埼玉・利根川特設コース、男子 137 名
- ・ [第 51 回全日本学生選手権自転車競技大会](#)  
7 月 3 日～4 日 長野・かりがね、男子 211 名、女子 16 名
- ・ [文部科学大臣杯第 66 回全日本大学対抗選手権自転車競技大会](#)  
8 月 26 日～29 日 青森・八戸、男子 268 名、女子 20 名

オ．全日本実業団自転車競技連盟事業

- ・ [第 44 回全日本実業団東日本ロードレース大会](#)  
4 月 24 日 群馬・群馬 CSC、男子 465 名、女子 26 名
- ・ [第 44 回全日本実業団西日本自転車競技大会（トラック）](#)  
6 月 5 日～6 日 大阪・関西 CSC、男子 88 名、女子 9 名
- ・ [第 44 回全日本実業団西日本ロードレース大会](#)  
6 月 20 日 広島・中央森林公園、男子 476 名、女子 22 名
- ・ [第 9 回全日本実業団サイクルロードレース in 石川](#)  
7 月 18 日 福島・石川町・浅川町周回コース、男子 411 名、女子 21 名
- ・ [第 41 回全日本実業団東日本自転車競技大会（トラック）](#)  
8 月 7 日～8 日 山梨・境川競技場、男子 64 名、女子 6 名
- ・ [経済産業大臣旗第 44 回全日本実業団対抗サイクルロードレース大会](#)  
9 月 23 日 静岡・日本 CSC、男子 451 名、女子 29 名
- ・ [第 41 回全日本実業団自転車競技選手権大会](#)  
9 月 18 日～19 日 長野・かりがね競技場、男子 56 名、女子 19 名



## 選手強化事業

- ・選手強化事業  
(国内トラック・海外トラック、ジュニア、MTB、BMX 強化合宿等全 27 回実施、計 240 名参加)
- ・第 1 級公認審判員講習会(山口、大阪)各 2 名参加
- ・広報誌の発行、計 12 回発行：各回 4,500 部印刷・配布  
[No.168](#)、[No.169](#)、[No.170](#)、[No.171](#)、[No.172](#)、[No.173](#)、[No.174](#)、[No.175](#)、[No.176](#)、[No.177](#)、[No.178](#)、[No.179](#)、

## 自転車競技に関する調査研究事業

- ・各種委員会 34 回開催

## 2. 予想される事業実施効果

### (1)国内競技大会事業

本事業の実施により、登録者の練習成果の最高峰の場として、かつ予め定められた開催要項に基づき公正かつ安全な各種目の全日本選手権等を提供するとともに、海外派遣の選手選考の一助とするべく効率的な開催をすることにより、自転車競技の普及に寄与する。

### (2)国内での国際競技大会事業

本事業の実施により、海外からのトップアスリートを呼び、高度かつ円熟したパフォーマンスを披露することにより、連盟登録者に対する刺激に加え、観客等一般の人達に対し競技の魅力を全国に発信することにより、自転車競技の普及促進を図る。

### (3)国際競技大会事業

連盟の選手強化は、オリンピック、世界選手権大会を頂点とする国際大会で世界に伍して戦うため、優秀な指導者・スタッフの下、年間を通しての計画的・科学的なトレーニングが不可欠であるとともに、海外での国際大会の経験を重ねることが必要である。

### (4)加盟団体事業

競技の底辺を支える全国 47 都道府県車連において、それぞれの地元の実情に合わせて計画した事業の実施を通じて、自転車競技の普及を図ることにより、1 名でも多くの登録者の増加を目指す。

また、高体連、学連、実業団にあっては、将来の日本代表に育つであろう若手の育成を目的とするものであり、1 名でも多くのエリート強化指定選手が生まれることを目指す。

プロ協会にあっては、競輪選手を中心に特にトラック競技への参加を促すことにより、レベルアップを図る。

### (5)強化普及事業

本事業の実施により、オリンピック、世界選手権大会を頂点とする国際大会で世界に伍して戦うこととなり、将来的な自転車競技の普及・振興につながるものである。

全国自転車競技指導担当者研修会・審判員講習会の開催については、自転車競技の向上において、競技力及び審判技術の向上は欠かせないため、最新の情報収集を行う。

また、チャレンジサイクルロードレース等の大会においては、広い世代に競技の楽しさをアピールし、競技の普及と登録者拡大を目指す。

広報関係では一般の方やファン層に向けた宣伝や観客動員を意識し PR 対策、メディアに対しても広報活動を実施していく。

(6)自転車競技に関する調査研究事業

本事業の実施により、前記各事業の円滑な遂行を図る。

3.本事業により作成した印刷物

下記大会のプログラム

(1)第13回全日本選手権トラックレース：450部

(2)第13回全日本選手権エリートロードレース、第79回全日本アマチュア自転車競技選手権大会  
ロード、第15回ジュニア全日本選手権ロードレース大会：800部

他、競技大会プログラム

4.事業内容についての問い合わせ先

団体名：財団法人日本自転車競技連盟（ザイダンホウジンニホンジテンシャキョウギレンメイ）

住所：107-0052 東京都渋谷区神南1-1-1

代表者名：会長岩楯昭一（イワダテ ショウイチ）

担当部署：総務部

担当者名：総務部長山崎史郎

電話番号：03-3582-3713

FAX番号：03-5561-0508

URL：<http://jcf.or.jp/>